

水産輸入防疫の現状と課題

日時: 2014年3月30日 13:00-15:30

場所: 函館国際ホテル

入場無料 (当日参加可)

■講演

- 我が国に侵入した水産動物の疾病
高岸奈々絵 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
- OIE水生動物衛生コードと輸入リスク分析
釘田博文 (OIEアジア太平洋地域事務所)
- 水産輸入防疫の現状と課題
消費安全局水産安全室 (農林水産省)
- 食品等の検疫制度
一色賢司 (北海道大学大学院水産科学研究院)
- 水産動物の輸入防疫ーサケマス類を例に
吉水 守 (北海道大学)
- 感染症の侵入から日本の水産業と水生動物を守るために僕らがすべきこと
良永知義 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

■申込み

可能な限り事前申し込みをお願いします。
代表者名, 所属, 参加人数を明記してください。
FAX: 0138-40-8810
E-mail: fishpath@fish.hokudai.ac.jp

参加申込用紙(FAX用)

送信先: 0138-40-8810

*申込者氏名	
*所属または職業	
*参加人数	
電話番号	
FAX番号	

*** 氏名, 所属または職業, 参加人数は必ずご記入ください。**

企画趣旨

水産動物の疾病は、種卵や種苗の世界的な移動に伴い、世界的な拡大を続けている。貝類の防疫については、「貝類伝染病の侵入を防ぐために我々は何をすべきか」という問いかけのもと平成25年3月にシンポジウムが開催され、これまでに国内に侵入した貝類等の疾病および侵入が危惧されている海外病に関する知見や防疫の取り組み等が紹介された。本企画では、水産輸入防疫の課題を魚病学分野および食品衛生学分野の両側面から整理するとともに、魚類および貝類における輸入疾病の発病例および瀬戸際での遮断に成功した例をもとに、今後の輸入防疫対策について議論したいと考えている。